

公約破って
鳩山首相辞任

米海兵隊普天間基地、後期高齢者医療、労働者派遣法…そして「政治とカネ」

首相交代で一件落着とはならない

民主・国民新党両党による菅連立内閣が発足しました。

菅首相は、「鳩山政権が短命に終わったことは残念だし」、副総理として「大きな責任がある」と記者会見で述べましたが、その一方で、沖縄普天間基地問題は、沖縄県民の世論調査でも県内移設に84.1%の人が反対しているのに、あくまで「日米合意をふまえる」としており、「政治とカネ」をめぐる問題でも、何ら疑惑の解明もしないまま、首相と幹事長の辞任で幕引きをはかろうとしています。鳩山さんが辞任にいたったのは、首相個人ではなく、民主党と民主党政権が共同で責任を負うべきものであって、その反省がないまま、首相の顔を変えただけで、国民の信頼は得られません。古い政治の枠組みからの脱却が求められています。

菅政権の
めざす方向は

国会会期延長で参院選ずれ込みか？

改築中の守山小学校からエルセンターまで移動する子どもたち。教職員が付き添っています。非常に危険です。



臨時の保安要員3名配置

守山小とエルセンターの移動

3月議会で問題点指摘 補正予算で137万円計上

改築中の守山小学校の子どもたちは、体育の授業時間、片道20分もかけて、エルセンターまで移動しなくてはなりません。小牧議員が実際に移動の様子を見に行った際も、上記の写真のように、子どもたちの列は延々と長く続き、行き帰りだけでも疲れた様子。エルセンターに向かう学年と帰る学年がすれ違う時には、子どもたちが道いっぱい。これからの暑い時期や2学期の運動会の練習の時期の移動は、さらに大変です。こうした事態は当然予想されていたため、3月議会では、日本共産党の小牧一美議員が危険性を指摘し、安全確保のための手立てを講じるべきだと求めていました。現在、開会中の6月定例議会には、補正予算で、保安要員3名分、137万円が計上されています。こうした市の対応に、「とってもありがたい」という声が寄せられています。

6月議会では、引き続き、実態を調査したり、保護者のみなさんから寄せられた声をもとに、現状の問題点を指摘し、体育の授業に適したエルセンターの整備や、小学校内に臨時に設けられた広場の整備、中庭の有効活用など、2年間、子どもの発育に支障をきたさない最大の努力をすべき、と市教育委員会に対応を求めます。

開会中の守山市6月定例議会は、15日、16日と一般質問が予定されています。このなかで小牧議員は、引き続き社会保障としての国民健康保険のあり方、守山小学校新築移転に伴う問題点について、すこやかまちづくり事業について、新人職員の自衛隊体験入隊についてなど6項目について、現地調査による市民の声や調査資料などをもとに、市政のあり方をただすとともに、要求実現を迫ります。小牧議員の質問は、15日13番目。

15日 小牧議員が一般質問

日本共産党
守山民報

守山市議会議員
こまき一美

党守山市くらし対策責任者
まつば栄太郎

TEL・FAX 582-3785
http://komaki.jcp-web.net/

TEL 584-3077
FAX 584-3466

日本共産党守山市委員会発行 486号 2010・6・9 TEL 583-8552 FAX 583-1098

毎週木曜日 午後5:45～6:45 守山駅で街頭宣伝しています。